# 家庭における省エネ対策について

#### 【省エネ型機器の現状】

家電製品を始めとする近年のエネルギー消費機器は、効率が大幅に向上しています。機器を購入する際は、省エネ型の製品 を選択することが家庭の省エネにつながります。

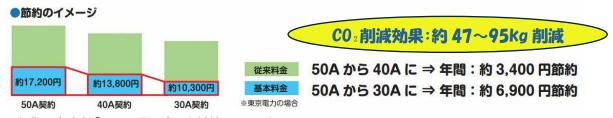
冷蔵庫(定格内容積 451L~500L) エアコン (冷房能力 2.8kW クラス) 10年前と比較して、、、 10年前と比較して、、、 削減 省エネ効果:約 15% 省エネ効果:約28~35% 削減! 年間電気代:約3,190円~4,430円 年間電気代:約4,150円  $CO_2$ 削減効果:約45~62kg CO<sub>2</sub>削減効果:約 <mark>58</mark>kg 年間消費電力量 (kWh/年) 期間消費電力量 (kWh/年) 903kWh 370kWh 410kWh 769kWh 267 kWh 2013年 2023年 2013年 照明(1日5~6時間点灯した場合) 温水洗浄便座 白熱電球から電球形 LED ランプへ切り替えると、、、、 貯湯式から瞬間式へ切り替えると、 省工ネ効果:約86% 省工ネ効果:約44% 削減! 削減! 年間電気代:約2,880円 年間電気代:約2,170円 CO<sub>2</sub>削減効果:約40kg CO<sub>2</sub>削減効果:約30kg LEDランプ 160kw 108 kWh 90kWh 白熱電球 電球形 LEDランプ 瞬間式

表 1 省エネ型家電への買い替えによる省エネ効果

出典:一般財団法人 家電製品協会「2024 スマートライフおすすめ BOOK」より作成

## (参考:契約アンペアの見直し)

家族構成の変化、省エネ家電への買替等により、新築時から契約アンペアを見直していない場合、下げられる可能性があります。



出典:東京都「2024夏の省エネ対策リーフレット」1

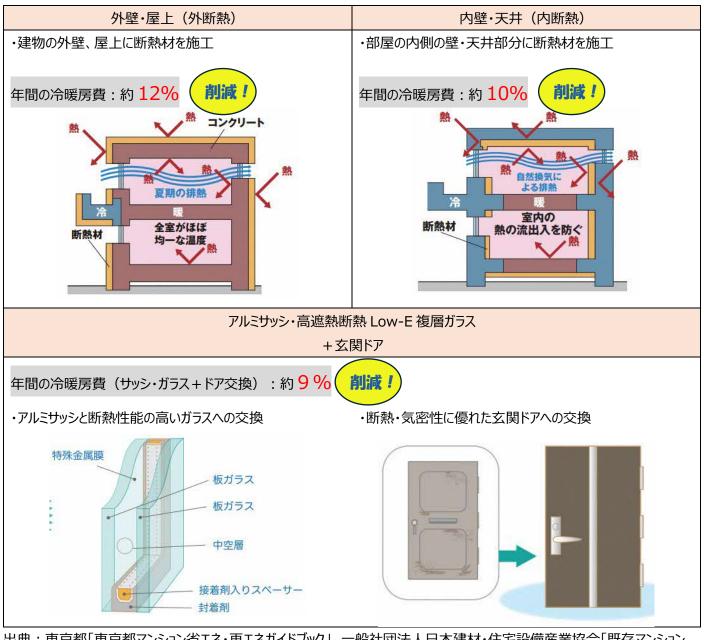
### 【住宅の省エネ性能】

省エネルギー住宅を実現するためには、断熱、日射遮蔽、気密の3つが対策の柱となります。

# 

図 1 住宅の各部における熱の流出入の状況

表 2 断熱回収における省エネ効果(マンションの場合)



出典:東京都「東京都マンション省エネ・再エネガイドブック」、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会「既存マンション 省エネ改修のご提案」